

令和 5 年度事業計画

公益財団法人川崎市文化財団

令和5年度事業計画

目次

本編

I 財団本部事業	4
II ミューザ川崎シンフォニーホール事業	10
III 川崎市アートセンター事業	12
IV 東海道かわさき宿交流館事業	19

資料編

I ミューザ川崎シンフォニーホール事業 別紙1～2	26
III 川崎市アートセンター事業 別紙1～4	31
IV 東海道かわさき宿交流館事業 別紙1～2	35

川崎市文化財団の事業運営の基本方針

- 市民の文化芸術活動を振興し、川崎市における文化芸術の創造を促進するため、多様なジャンルの各種の文化芸術事業を実施します。
- 文化芸術施設の管理運営を通して、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供し、文化芸術の創造と発信、文化芸術活動の支援と協働を推進します。
- 夢や希望を与え、人のつながりを生む文化芸術活動を通じて、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりを推進する川崎市の方針を実現する中核的な組織としての自覚を持って、財団全体の組織力を結集し、経営感覚に富んだ効率的な事業運営を行います。

【新型コロナウイルス感染症対策】

当財団では、令和5年度も引き続き、各施設において新型コロナウイルス感染症対策に努め、各事業に取り組みます。

I 財団本部事業

1 文化事業

(1) 文化振興事業

ア 文化情報事業

市民文化活動の活性化を図り、生き生きとした市民文化を育てていくための様々な文化活動情報の提供を行います。

(ア) 文化情報誌「かわさきアートニュース」の発行

文化財団が実施する各種事業に携わる文化人、文化団体のインタビュー記事や、市内の各種文化事業をお知らせする情報誌を毎月発行します。

(イ) ウェブサイト等の運営

文化財団が実施する各種事業情報及び管理する施設情報をインターネット やSNSで幅広い年齢層へ発信し、広く文化活動の活性化を図ります。



(2) 芸術文化育成事業

市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術文化を普及するための美術展、演劇の創作発表を支援します。

ア 芸能サロン(1月)

川崎能楽堂において、市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供します。

イ かわさき市民アンデパンダン展

(6月下旬～7月上旬)

芸術文化を普及するため、絵画・写真・書道の3部門による無審査方式のかわさき市民アンデパンダン展を開催します。

「かわさき市民アンデパンダン展」



ウ かわさき演劇まつり（演劇講座）（7月）

子どももおとなも楽しめる演劇を鑑賞する機会を市民に提供し、川崎市における演劇文化の振興・普及を支援します。かわさき演劇まつり実行委員会を中心として川崎市内を拠点とする演劇集団や市民と共に「モモ」を企画・上演します。

エ 川崎郷土・市民劇

川崎の歴史上の人物や川崎の発展に寄与した人物をテーマに、市民が制作した演劇作品を市民と共に上演し、演劇文化の向上を図るとともに、街づくりに寄与します。

令和6年度の第9回公演実施に向け、川崎郷土・市民劇上演実行委員を中心として企画・制作を行い、出演者募集、シンポジウム、広報活動等を実施します。

また、第10回以降の公演実施に向け、題材及び運営体制の検討をします。

（3）歴史文化事業

地域の歩みや移り変わりを伝える歴史的・文化的資源等を市民に紹介し、ふるさと意識の醸成と市民文化の振興を図る事業を行います。

ア 歴史ガイドパンフレット等の市民への提供

イ 歴史ガイドパネルの管理 既設パネル数146基

ウ 歴史ガイドパンフレット等を活用した見学会・講座等の実施

（4）古典芸能普及事業

川崎能楽堂において、日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に努めます。

ア 夏休み能楽体験・鑑賞教室の開催

次代の市民文化活動の担い手となる小・中学生を主な対象として、能楽の講座、仕舞、謡、小鼓、大鼓、太鼓、笛等の実技体験と、わかりやすい解説を加えた能楽鑑賞からなる3日間の入門講座を開催します。（7月下旬～8月上旬）



「夏休み能楽体験教室 小鼓」



「夏休み能楽体験教室 仕舞」

イ 能楽教室の開催

能楽師が謡曲、仕舞、能囃子の笛、小鼓などの実技指導を行う能楽教室を月に2～3回（火曜日又は木曜日に）開催します。



「能楽教室 小鼓」

(5) パラアート推進事業

障がいの有無に関わらず、共に文化芸術に積極的に取り組む機運の醸成及び障がい等のあるアーティストの人材育成に寄与することを目的として、次の事業を行います。

ア 展示プログラム

作者に障がいがあるか・ないかということにとられず、ありのままの作品の魅力を感じてもらい展示会を開催します。

制作にあたっては、市内特別支援学校及び障害者福祉施設等に幅広く参加を呼びかけ、希望施設への事前出張指導を行い、開催期間中には、来場者の理解を深めるためのワークショップ等を開催します。(11月頃に連続10日間程度)



本展の前後には、より広く多くの方に作品を観ていただけるよう巡回展も行います。

また、作品をより気軽に発表・鑑賞できる場として、市内2箇所(川崎市生涯学習プラザ、川崎市青少年の家)で「パラアート作品常設展示」を行います。

イ ネットワークプログラム

パラアート関係者が抱える課題を解決するための研修や、関係者同士の交流やコラボレーションを促進するためのネットワーク会議等を開催します。(年2～4回程度)

ウ 公募・連携プログラム

(ア) 一般公募プログラム

障がいのある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むためのモデルとなる事業を発掘し、事業の成果を先行事例として広く発信することを目的に企画を募集します。(公募4～5月、審査6月、事業実施6月～2月、事業報告会3月)

(イ) 連携プログラム

相談支援で寄せられた情報等をもとに、市域で活動している様々な団体等の取り組みと連携し、パラアートの普及啓発を行います。(通年)

エ ウェブサイト等での情報発信

パラアートの中間支援を目的に、ウェブページ「ぱらあーとねっと」及びSNSを通して、市内のパラアート関連情報を収集・発信します。

また、インターネット展覧会の開催、コンテンツ拡充や利用者拡大のための広報、ウェブアクセシビリティの向上等も図ります。

オ 相談窓口の開設、中間支援機能の調査・研究

パラアートに関する相談をネットワーク会議やウェブページ「ぱらあーとねっと」等で受け付け、可能な限り対応していきます。

また、日本芸術文化振興会が主宰する「アーツカウンシル・ネットワーク」に参加し、中間支援機能の強化につながる調査・研究を行います。

2 芸術文化事業

(1) 公演事業

日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に努めます。

ア 川崎能楽堂定期公演

観世流鏡仙会、観世流梅若会、金春流の各流派による能・狂言の定期公演を3回、狂

言の定期公演を1回開催します。また、能楽をより理解し、楽しむための事前講座を開催します。

イ 能楽普及公演

川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）にて、能・狂言の公演を開催します。

（２）美術展等開催事業

市民の創造的な文化活動を支援するための発表の場を提供し、地域の歴史文化に触れる機会を提供する展示事業を共同で開催します。

ア アートガーデンかわさき企画展の開催

川崎区誌研究会及び市立図書館との共同企画展（1月）

イ アートガーデンかわさき共同開催企画展

市民の創造的な文化活動の発表の場を提供し、身近な人々の作品を鑑賞することで文化活動の裾野を広げる事業を市内文化団体等との共同で開催します。

- (ア) 川崎美術協会展（10月）
- (イ) 川崎市書道連盟展（11月）
- (ウ) 川崎区文化協会美術展（11月）
- (エ) 川崎市立高等学校合同芸術祭（1月）
- (オ) かわさき市民芸術祭（2月）

ウ アートガーデンかわさき特別展示室事業（川崎浮世絵ギャラリー）

アートガーデンかわさき特別展示室では、「川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション」と称し、川崎在住で浮世絵コレクターとしても有名な斎藤文夫氏の所蔵作品を常設展示しています。美術史に名を残す名品から地域にゆかりの作品まで、国内外で高い評価を受ける浮世絵の数々を間近に見る良質な文化芸術体験の場を提供します。

- (ア) 「横浜浮世絵」前期展 令和5年3月11日（祝）～4月23日（日）
- (イ) 「横浜浮世絵」後期展 同 4月29日（祝）～5月28日（日）
- (ウ) 「国芳・芳幾・芳年」前期展 同 6月3日（土）～7月9日（日）
- (エ) 「国芳・芳幾・芳年」後期展 同 7月15日（土）～8月20日（日）
- (オ) 「物語絵」展 同 8月26日（土）～10月1日（日）
- (カ) 「浮世絵東海道」前期展 同10月7日（土）～11月12日（日）
- (キ) 「浮世絵東海道」後期展 同11月18日（土）～12月21日（木）
- (ク) 「新版画」展 令和6年1月5日（金）～2月12日（振休）
- (ケ) 「浮世絵にみる異国」前期展 同 2月17日（土）～3月24日（日）
- (コ) 「浮世絵にみる異国」後期展 同 3月30日（土）～5月6日（振休）



「浮世絵ギャラリー入口風景」



「浮世絵ギャラリー 展示風景」

3 文化施設運営事業

(1) 川崎能楽堂管理運営事業

市民団体等が能楽を中心とした芸術文化活動を鑑賞、学習、発表する場として、川崎能楽堂を提供します。

(2) アートガーデンかわさき管理運営事業

市民団体等が各種美術作品等を発表し、市民等が鑑賞するギャラリーとしての利用に供します。

(3) 新百合トウェンティワンホール管理運営事業

ア 新百合トウェンティワン地下2階にある多目的ホール、会議室、研修室等を市民団体等の創造的な文化活動を支援する場、文化芸術を発信する場及び絵画展、写真展等のギャラリーの利用に供します。

イ 新百合トウェンティワンホールにおいて、市民に優れた文化芸術に接する機会を提供します。

(ア) アルテリッカ演芸座（4月：川崎・しんゆり芸術祭2023への参加公演）

(イ) こども狂言教室（12月～3月）

(ウ) アルテリッカ新ゆり美術展（3月：アルテリッカ新ゆり美術展2024実行委員会との合同主催）

(4) ラゾーナ川崎プラザソル管理運営事業

大型商業施設ラゾーナ川崎プラザ5階にある多目的ホールを管理運営し、演劇公演や音楽コンサート、伝統芸能などの多様な文化芸術活動の発表・発信の場として、市民がさまざまな芸術文化に触れることのできる機会のほか、会議や商品展示会など身近に利用していただける場を提供します。



「プラザソル開館16周年記念公演『キレナイ』」

ア さまざまな利用方法に対応できる多目的ホールの特徴と、充実したLED舞台照明装置などを活かして、文化芸術活動を始め、地域や学校のサークル活動、各種イベント等において幅広く、利用者に満足いただける管理運営を行います。

イ 伝統芸能・芸術文化の発信事業として、文化財団主催の落語会「ラゾーナ寄席」を毎月第3火曜日の夜に開催します。毎回一流の落語家をお招きして、日本の伝統芸能である落語に親しむ楽しいひと時を提供し、令和5年で満11年、開催回数は120回を超えました。

4 共催事業

(1) 第48回川崎大師薪能 (6月)

川崎の初夏の風物詩として市民の方々に長年に亘り親しまれてきた川崎大師薪能を川崎大師平間寺（特設舞台）において実行委員会と共同開催します。



「第47回 川崎大師薪能」

(2) かわさきジャズ2023 (9月～11月)

国内外で活躍するアーティストによる公演をはじめ、市内音楽大学と連携した人材育成プログラムや市内各所でのフリーライブ、地元企業とのタイアップ企画等ジャズを軸とした総合フェスティバルを実行委員会と共同開催します。

(開催予定会場)

ミュージア川崎シンフォニーホール、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウェンティワンホール、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、CLUB CITTA、川崎市スポーツ・文化総合センター、川崎市アートセンター など市内各所



「かわさきジャズ2022」

Ⅱ ミューザ川崎シンフォニーホール事業（指定管理者事業）

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者である「川崎市文化財団グループ」は、当財団、(株)シグマコミュニケーションズ及びサントリーパブリシティサービス(株)の3者で構成するもので、当財団はグループの代表者として事業を実施します。

今年度は、第4期指定管理期間の4年目として、最高の音楽芸術活動の場であり聴衆と演奏家にとって魅力のあるホールであること、芸術文化活動を通して地域に貢献し、「音楽のまち・かわさき」のシンボルとして「音楽ですべての人がつながるまち～共生社会の実現～」を目指すべく、クラシック音楽を中心に幅広いラインナップにて芸術創造・発信を行い、音楽を通して市民生活の豊かさを提供し、市民と共にミューザ川崎シンフォニーホールをつくり、充実した公演事業を展開していきます。

また、わが国の文化のけん引役として芸術創造・普及啓発・人材育成の各事業を総合的に進めてまいります。

1 音楽文化振興事業

別紙1

(1) 「フェスタサマーミューザKAWASAKI 2023」をはじめとする、ミューザ川崎シンフォニーホール企画コンサート等の開催

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者として、フランチャイズ・オーケストラである東京交響楽団との共同企画によるホール看板事業の「名曲全集」、クラシック音楽のすそ野を広げることを目的としたホールシンボル事業の「フェスタサマーミューザKAWASAKI」、市民の誇りとなる海外オーケストラ公演、ホールアドバイザーによる企画公演など、多彩なジャンルの公演を開催する他、ホールファンの拡大を目的としたホール魅力アップ事業の「ランチタイムコンサート」「スペシャル・ナイトコンサート」等、クラシック音楽やアコースティック音楽を中心とした日本を代表するコンサートホールとしての事業展開を図ります。

また、市民の晴れ舞台としての発表の場として、市民参加型事業を実施することにより、音楽の素晴らしさと演奏の喜びを味わう機会を提供します。

※予定事業 別紙1のとおり

主催・共催公演予定数 80公演（ホール公演のみ）



(2) 普及啓発（教育プログラム）事業の展開

「こどもフェスタ」など、子どもたちが楽しみながら音楽に触れる機会を提供し、また、「ミュージアの日」など、地域のホールとして親しみが持てるプログラムを展開することにより、子どもたちの感性豊かな心の成長と次代への音楽文化継承を進めてまいります。



(3) アウトリーチ事業の実施

川崎市内各地にて「音楽のまち・かわさき」を推進すべく、「出張サマーミュージア@しんゆり」や「ポップリ・コンサート」など、アウトリーチ公演を実施します。



(4) 人材育成事業の展開

若手演奏家育成事業やインターンシップ事業、創発プログラムなどの展開により、音楽家や制作者の育成を進めてまいります。

(5) インクルーシブな環境づくり

川崎市が進める「かわさきパラムーブメント」と連携して、バリアフリー対策や障害者に対する理解促進など、誰もが文化芸術に親しめるホールを目指して環境づくりを推進します。

(6) 令和6年度 市制100周年・ミュージア川崎シンフォニーホール開館20周年

音楽を通じたまちの賑わいづくりやシビック・プライドの醸成を進めるとともに、翌年度の川崎市とミュージア川崎シンフォニーホールのアニバーサリーイヤーに向けた企画の策定に取り組みます。

2 受託施設管理運営事業

ミュージア川崎シンフォニーホールの運営

日本を代表するコンサートホールとして、また、市民に開かれた交流の場としてホールの機能を最大限に発揮するように、併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、安心・安全にご利用いただけるように、施設の適切な管理・運営を行います。

今年度、音楽ホールでは、貸館108公演（令和5年2月末現在）を予定しております。

その他、音楽工房（市民交流室、企画展示室、練習室1～3、会議室1～3、研修室1～4）の運営など、市民の文化活動を支えてまいります。

Ⅲ 川崎市アートセンター事業（指定管理者事業）

川崎市アートセンターは、公益財団法人川崎市文化財団、昭和音楽大学グループ（代表者 学校法人東成学園 構成員株式会社プレルーディオ）及び学校法人映像学園（日本映画大学）で構成する「川崎市文化財団グループ（代表者 川崎市文化財団）」が、指定管理事業者として、令和4年4月1日から令和9年3月31日まで、事業運営と施設管理運営を担っています。

アートセンターは、地域の芸術・文化活動の創造発信及び交流の拠点として、日々多様な芸術活動の展開と鑑賞機会の提供に努めるとともに、芸術に関わる人材の発掘や育成など、芸術のまちづくりに寄与しているところです。

第4期指定管理の2年次目となる令和5年度におきましても、これまでの指定管理業務の実績を踏まえながら、多様化・複雑化するニーズに柔軟かつ迅速に対応し、より効果的・効率的な事業運営と施設管理運営を推進してまいります。

1 芸術文化事業

（1）舞台芸術等文化振興事業（アルテリオ小劇場） 別紙 1

アルテリオ小劇場は、舞台芸術の発信（創る）、担い手の育成（育てる）、鑑賞機会の提供（楽しむ）を基本コンセプトとして事業を展開しています。

当劇場は客席の傾斜があり見やすく、音が反響しないことからセリフが聞き取りやすいなどの特徴を持った、市内でも数少ない演劇公演に適した劇場空間です。この特性を活かした演劇やミュージカル、気軽に楽しめる落語やジャズコンサートなど幅広いジャンルの舞台芸術や鑑賞事業に加え、ワークショップや市民劇団の活動、アウトリーチ活動といった参加・体験型の事業も展開します。社会包摂の機能も担う文化施設として、市民にとって良質で魅力的な舞台芸術との出会いの場を劇場内外でも提供してまいります。また、昨年度に設置した劇場アドバイザー委員会での議論を踏まえ、地域住民がより利用しやすく、親しみを持っていただける劇場となるよう、魅力的な事業を実施します。なお、アートセンター会員組織作りに向けた劇場会員組織の立ち上げにつきましても、引き続き検討を進めてまいります。

ア しんゆりシアター

アルテリオ小劇場では、自ら企画・制作する公演事業を「しんゆりシアター」と名付け、地域の創造発信拠点となる地域劇場（リージョナルシアター）を目指し、事業を展開しています。また、様々な舞台芸術作品の創造発信を通して、人々の生きていく様や地域社会の基本的な価値観を表現していくとともに、子どもたちや高齢者、演劇を担う人材の発掘・育成に努め、地域の文化・芸術資源を活用しながら質の高い事業を引き続き実施いたします。具体的には、年間1作品でプロの俳優及びスタッフを招き上演するプロデュース公演（しんゆりシアター）と市民劇団・劇団わが町公演を行ってまいります。

（ア）しんゆりシアター（10月公演）

令和4年度に引き続き演出家、五戸真理枝（文学座）氏を迎え、フランスの劇作家モリエールの遺した「最も美しい戯曲」とされる『女学者』を上

演じます。五戸氏は、しんゆりシアターのチェーホフ2作品だけでなく、新国立劇場、世田谷パブリックシアターなどの演出も好評で、第30回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞するなど、将来が期待される演出家の一人として演劇界でも注目されており、氏の作品に実力派俳優を配し、誰もがわかりやすい喜劇を劇場で楽しむ機会を提供します。



「人間ざらい～メランコリックな恋人 喜劇5幕～」(令和4年10月公演) 撮影：関口淳吉

(イ) 劇団わが町 (12月公演ほか)

平成24年度に生まれた劇団わが町は、ふじたあさや氏が劇団わが町芸術監督を務め、9歳から81歳までのメンバー43名が所属しています(令和4年度現在)。団員は公演のスタッフ・キャストとしての活動に加え、しんゆりアウトリーチへの活動にも、サポートメンバーとして参加。鑑賞だけではなく「体験」というアプローチによって地域住民に舞台芸術との出会いの場を提供しています。川崎市制99周年、100周年となるこれからの2年間、劇団わが町は「わが町川崎を知る」をテーマに活動します。今年度は、「文化から平和を考える」として、30余年前に法政大学第二高等学校の生徒らによる「登戸研究所掘り起こし運動」に着想を得たオリジナル作品を上演します。

イ 通年事業

事業の実施にあたっては、単なる公演事業とするのではなく、地域とのつながりを重視し、企画や出演者にとどまらず、公演当日の運営も地域住民にボランティアスタッフとして参加いただくことで、劇場を身近に感じ、文化芸術を支えるという意識を高める機会を提供してまいります。(ア)(イ)ともにリーズナブルな価格で楽しめる年間パスポートを用意、劇場の顧客獲得を目指します。

(ア) しんゆり寄席 (5回開催)

市北部の定期寄席として親しまれている「しんゆり寄席」は市内在住の初音家左橋、桂米多朗両師匠を世話役に多彩なゲストを迎え、古典芸能の魅力をお届けします。

(イ) しんゆりジャズスクエア (5回開催)

幅広いジャズ愛好家が定着している「しんゆりジャズスクエア」は、地元タウン誌を発行している事業者やイベントを企画している事業者が参画し

ているほか、昭和音楽大学とのコラボレーション企画として講師と卒業生による共演公演など、地域に根ざした企画を提案してまいります。

ウ その他

映像館とのコラボレーション企画として、劇場機能を存分に活かし、光と影を活用した映画と舞台をつなぐ企画やワークショップを実施します。また、夏休みには、児童青少年演劇を招へいし、国内外から親子で楽しめる質の高い作品を選定することで、新しい価値観との出会いの場を提供します。さらに、地域住民が参加できる事業として、夏休みワークショップを開催し、ミュージカル体験やことばのワークショップを実施するほか、「しんゆりアウトリーチ」と題して行っているアウトリーチ活動では、演劇をツールとしたコミュニケーションワークショップや演劇体験等に重きを置いたワークショップを開催します。コロナ禍において人と人がつながりにくい状況だからこそ、演劇という共同作業を活用する参加・体験型事業のニーズは高まっていると考えます。

(2) 映画・映像文化振興事業（アルテリオ映像館） 別紙2

アルテリオ映像館では、映像専門のホールを備えた施設として、通常のシネマコンプレックスなどの商業映画館では公開されにくい、日本を含む世界各地で作られた芸術的・文化的価値の高い名画、秀作を選定し上映するなど、質の高い映像芸術プログラムによる事業を展開しています。また、公共施設では珍しい録音室を活用して目の不自由な方のための副音声イヤホンガイドの制作や耳の不自由な方のための日本語字幕を付けたバリアフリー上映を引き続き行い、多様な鑑賞機会を提供することで、誰もが映画を楽しめる環境づくりを進めます。また、コロナ禍で中断中の、上映中にお子様をお預かりする保育付き上映も状況を見つつ、再開を目指します。さらに、映画監督やキャスト等によるゲストトークショー、子ども向けのワークショップや社会人向けのワークショップなどを開催するほか、「KAWASAKI しんゆり映画祭」との共催、「アルテリッカ しんゆり2023」の一環としての企画上映、日本映画大学との共催による上映会を行うなど、地域や映像教育機関との共催・連携事業に取り組めます。なお、脚本家、映画プロデューサー、都内映画館支配人などの委員からなる映像事業企画・作品選定委員会を設置し、映画・映像事業の円滑な運営に資するため企画や作品に関する助言を受けています。

ア 映画上映事業

アルテリオ映像館では、月曜日の休映日等を除くほぼ毎日、新作・名作を中心に上映いたします。夏休みには、主として子どもを対象にした日本映画をフィルムで鑑賞する「映画タイムマシン」を開催するほか、不定期に中・高生を対象としたシネマリテラシー講座の「放課後シアター」を開催します。

さらに、副音声ガイド付き上映、保育付き上映などのバリアフリー上映を定期的に行い、良質な映画・映像プログラムを提供することで、他の施設では味わえない映画の楽しさや奥深さを市内外に発信し、映像のまち・かわさを推進する拠点の一つとしての機能を引き続き担ってまいります。

イ 文化創造事業

上映作品などに関連した監督、スタッフやキャスト、評論家などをゲストに招いて、作品解説などのトークや講座、舞台挨拶を開催します。小学生を対象

に、夏休みと春休みにアニメーションやピンホールカメラ、映画制作、映画音楽制作、無声映画活用などの「子ども向けワークショップ」を開催します。

また、社会人を対象に、撮影や編集の基本的な技術を習得するための「3分間ビデオ制作入門講座」を秋から2月にかけて10回開催します。



子ども向けワークショップの様子（令和4年度）

ウ 広報・宣伝事業

「アルテリオ・シネマニュース」を毎月1回（約17,000部）発行し、公共施設や駅施設などへ配架するとともに、ホームページやメールマガジンを活用した広報活動を行います。また、独自に企画した特集上映ではチラシ、ポスター、鑑賞の手引きなどを作成し、情報提供と広報・宣伝に努めます。

多様な映画を、多くの方々に楽しんでいただくため、会員価格や「アルテリオ・シネマニュース」の発送などの特典がある会員制度「アルテリオ・シネマ会員」を引き続き実施するとともに、今まで情報が届いていなかった方にアプローチするなど、来館者の増加に向けた取り組みを積極的に行い、さらなる会員拡大にも努めてまいります。

エ その他の取組

令和4年度の15周年記念事業として、フランス映画「どん底」の劇場及び非劇場上映権を獲得したことから、全国のミニシアターに働きかけ、広く上映していただく活動を進めてまいります。

記：「どん底」／／1936年製作／監督：ジャン・ルノワール／原作：マクシム・ゴーリキー／脚本：シャルル・スパーク、ジャン・ルノワール／／出演：ジャン・ギャバン、ルイ・ジューヴェ

2 特定事業 別紙3

（1）KAWASAKI しんゆり映画祭

KAWASAKI しんゆり映画祭は、「しんゆり・芸術のまち構想」の一環としてスタートした「市民がつくる映画のお祭り」として、毎年秋に開催されるもので、令和5年度で29回を数えます。アートセンターは、映画祭事務局と連携を密に図りながら、共催事業として施設無償提供だけでなく、ガイダンスやボランティア研修を共同で企画するなど、地域に根差した映画祭をサポートします。

(2) 川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり） 別紙4

川崎・しんゆり芸術祭は、例年4月から5月のゴールデンウィークを中心に開催される川崎北部の総合芸術祭です。アートセンターは、文化芸術機関や関係団体等で組織された主催者である実行委員会の一員として、事務局業務や各種調整業務等を担い、芸術祭全体の公演の事業計画の立案、予算及び決算、広報、アートボランティアとの連絡調整・研修等を行うとともに、公演の準備から公演当日の運営など、指定管理を担う川崎市文化財団グループ内で役割を分担し、芸術祭全般的を担当します。また、令和5年は川崎・しんゆり芸術祭の15周年、令和6年は川崎市制100周年という節目の年を迎えることから、さらに多くの方に満足していただけるよう芸術のまちにふさわしい魅力的な公演の開催を検討し、新たなファン層の獲得にも努めてまいります。なお、昨年度、事務局体制の見直しを図りましたが、今年度も、簡素で効率的な執行体制の確立と業務量に見合った柔軟な人員配置など、持続可能な芸術祭に向けて、引き続き見直しを進めてまいります。



川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2022

(3) アートボランティア育成事業「アート講座」

アート講座は、アートマネジメントに必要なノウハウを習得することで、芸術のまちを支える地域ボランティアの発掘・育成を目指す取組です。これまで主に川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）の出演者に講義をお願いすることで、受講者に芸術祭への関心を持っていただき販促や運営や進行に携わるボランティアへの誘導につなげてきました。

コロナ禍を経て、ボランティアの更なる活躍の場を求めるニーズや文化活動団体の人材不足といった課題解決に向け、より多くの地域住民と文化芸術を結び付け、幅広い年代が日常的に文化芸術に親しむ機会や新しい価値観との出会いの場を提供することに主眼をおいた講座を開催します。

3 管理運営事業

(1) 管理運営業務について

令和5年度は、第4期指定管理の2年次目にあたります。川崎市文化財団、昭和音楽大学グループ、日本映画大学との緊密な連携を図り、構成団体の特性を活かし、第4期指定管理応募の際に掲げた新たな取組を着実に進め、協働して川崎市アートセンターの効率的な管理運営に努めてまいります。

また、川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2023事業をはじめ、他の文化施設や地域の団体とのネットワーク化を図り、芸術文化の創造発信、舞台芸術と映像作品の鑑賞機会を提供する施設として、更に認知度を高め、来館者・利用者の促進に努めるとともに、「しんゆり・芸術のまち」の拠点に相応しい施設として適切な管理運営を行ってまいります。

さらに、「福祉のまちづくり条例」に適合したハード、ソフトともにバリアフリー化された施設として運営するとともに、多様性と社会的包摂に係る「かわさきパラムーブメントのレガシー」の形成に向けた取組を推進してまいります。

(2) コラボレーションスペースの有効活用について

コラボレーションスペースは、主に映像ホール及び劇場で鑑賞される方の休憩場所として、多くの方にご利用いただいているほか、ワークショップ事業（夏休み・春休み）や映画監督やキャスター等によるゲストトークの場として活用しております。今後も引き続きこれらの事業を継続していくとともに、昨年度、コラボレーションスペースを活用した団体の交流や情報発信事業を試行実施したことから、これを踏まえ、単なる「場の提供」にとどまることなく、文化活動団体のネットワークの核となるような役割を果たし、より一層の有効活用に取り組んでまいります。

ア 日本映画大学との連携によるトークショーの実施。

イ 昭和音楽大学と日本映画大学のコラボ企画の実施。

ウ 地域の芸術団体の情報交換と交流のためのスペースとして、定期的な活用。

エ NPO法人しんゆり・芸術のまちづくりとの連携事業の実施。

(3) 地域の文化活動団体のネットワーク形成事業について

麻生区の文化芸術関係の団体とのネットワーク形成に向けて、麻生区役所やNPO法人しんゆり・芸術のまちづくりが進める、あさお芸術・文化交流カフェとの積極的な連携を進めます。また同NPO法人が管理する、「しんゆり・芸術のまち」認証ロゴと連携した情報発信を引き続き促進いたします。

(4) 利用者の利便性向上にむけたデジタル技術のさらなる導入について

デジタル技術とデータを活用して、これまでの業務や執行体制を見直し、利用者の利便性を高めデジタル社会に適応したサービスが提供できる施設となることで、今までアートセンターに足を運んでいただけなかった世代の方々のニーズにも対応できる施設運営に努めてまいります。

ア デジタル技術の導入

- (ア) V L A N (Virtual Local Area Network) システムの利用促進に向けた取り組みを推進します。
- (イ) お客様の利便性の向上を図るため、チケットセンターの構築を進め、川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）のチケット販売とアートセンターの小劇場のチケット販売の統合を目指します。
- (ウ) お客様の利便性の向上とペーパーレス化を推進するため、小劇場の主催事業のチケットレス運用を開始します。この運用によって、地域のニーズや課題を検証し、長期的には川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）のチケット販売などにもノウハウを活用し、仕事の進め方・働き方改革にも結び付けたいと考えます。
- (エ) 映像館の事前予約制導入に向け、先行実施している施設の視察や調査など、研究を進めます。

イ データなどの活用

- (ア) さまざまな機会アンケート調査などを実施し、お客様の声を施設運営に活かせるようにします。
- (イ) これまで蓄積した経営に係る各種データや市・区などの行政データを活用し、効率的・効果的な経営を進めます。

(5) 市制100周年を契機とした取組について

川崎市は令和6（2024）年に市制100周年を迎えます。この節目の年に、これまで、文化・芸術に関わってこられなかった方、関心が薄かった方の文化・芸術活動への参加を促し、「芸術のまち・あさお」のまちづくりに巻き込んでいくような施設となるよう努め、都市イメージの向上とシビックプライドの醸成に貢献してまいります。また、アートセンターは令和9（2028）年に開館20周年を迎えることから記念事業実施に向けて、必要な経費の積立を開始します。

IV 東海道かわさき宿交流館事業（指定管理者事業）

「川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ」（公益財団法人川崎市文化財団及び一般社団法人川崎市観光協会）は、開館以来「東海道かわさき宿交流館」の指定管理者となっており、令和5年度は第3期指定管理者《令和5（2023）年4月1日～令和10（2028）年3月31日》の初年度となります。

当館は、平成25（2013）年10月にオープンして、今年10月には開館10周年を迎え、来館者数は延べ41万人（2023年1月末現在）となっております。特に2023年は、川崎宿起立400年を迎えるとともに当館の開館10周年となることから、市内外の多くの機関、団体と連携して東海道川崎宿を広く発信する事業を積極的に展開してまいります。

引き続き、指定管理者として適正な管理運営に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を確実にしながら、東海道川崎宿の歴史文化を学べる場として、さらに市民相互の交流と地域活動を推進する拠点として、様々な事業を実施することを通じて、川崎市のまちづくりに寄与してまいります。

1 施設利用の促進

（1）来館者へのおもてなし

令和5年度は、川崎宿起立400年と当館10周年が重なることから展示内容の充実強化に努めます。また、来館者が交流館において快適で充実した時間を過ごし、満足度を高めでお帰りいただけるよう、おもてなしの気持ちでお迎えます。

交流館の1階は、お休み処「万年屋」や休憩コーナー等、まち歩きの人や地域の方が気軽に立ち寄り交流できるスペースとなっており、「万年屋」では大型ディスプレイを配置し、川崎宿のガイドビデオを上映しています。

休憩コーナーには、東海道川崎宿の模型を設置し、来館者へ昔の川崎宿の姿を見ながら休憩していただきます。また、川崎市に関連した書籍等を置き自由に閲覧していただくとともに、壁面を利用し、市民から提供された作品や川崎宿に関連する地域情報を掲出する等、引き続き来館者に対してホスピタリティをもった接遇に努めます。

（2）展示室（2階・3階）・集会室（4階）等の利用促進

多くの方に当館を訪れていただけるよう、常設展示室及び企画展示コーナーの展示内容の充実強化を図ります。4階の第1・2集会室（117㎡）及び談話室（15㎡）は、地域活動や市民交流等の多様な用途に利用できる有料の貸出施設です。これらの施設については、市民の地域交流や市民団体の活動の場として活用いただけるよう、利用者のニーズに沿った利用し易い施設を目指します。

（3）利用者意見等の把握と改善

来館者の声を収集するアンケート用紙と投函箱を1階エレベーター前、休憩室及び3階展示会場に設置しています。また、職員等が利用者から直接要望等を受けた場合には、業務日報に記入しています。これらの情報を職員間で共有することにより、来館者の意見を反映した事業実施や運営の工夫改善につなげています。

（4）施設の保守管理

施設の維持管理業務を委託している事業者が、設備等の保守点検や清掃・警備等を適正に実施しているか管理します。事業者とは日常的に連絡を取り合って、施設を常に良好な状態に維持することに努め、来館者へ安全安心な環境を提供するとともに、施設の長寿命化を図ります。また、管理状況等を川崎市と情報共有し、必要な修繕等については協議し適正かつ迅速に実施します。

2 常設展示事業

当館は、江戸時代の東海道川崎宿に関する情報を発信し、多くの方に市域の歴史・文化に触れる機会を提供することを目的として設置されたことから、川崎宿の歴史的な成り立ちや理解を深めるための展示を行っています。また、当館は入館料無料であることもあって、繰り返し気軽に立ち寄っていただけるよう、交流館の特徴を十分認識し、市民の交流拠点として親しまれる施設としての展示事業を実施します。

- ・2023年は川崎宿起立400年を迎えるとともに、開館10周年となることから、魅力的な常設展となるよう積極的に展示内容の充実改善に努めます。
- ・地域をよく知る特定非営利法人かわさき歴史ガイド協会の協力を得て、来館者が楽しく観覧できるよう展示の趣旨・見どころや地域情報等を案内します。

3 企画展示事業

3階展示室では、常設展示とともに地域の多様な歴史・文化を発信する交流館に相応しい内容の企画展を年4回以上開催します。また、市民にとって親近感のある市内外で活動している作家、美術サークルなどの作品展等を積極的に活用して企画展示事業の充実を図ります。



工芸作家による押絵羽子作品展を開催

(1) 定例企画展示

佐藤惣之助と関連した企画展や、川崎市「観光写真コンクール入賞作品」展及び川崎ミニガイド展等の企画展示を行います。

(2) 特別企画展示

川崎宿起立400年を迎えることから、川崎市市民ミュージアムと共催し、特別展として(仮称)「川崎宿場展」や川崎地名研究所等の地域で活動している文化団体と共催した企画展を開催します。

4 文化イベント事業

地域文化の振興と地域交流の推進を図るために、交流館を活用して各種文化イベントを開催します。

(1) 江戸時代の粋に遊ぶシリーズ

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会の協力により、江戸時代から繋がる芸能文化を

わかりやすく紹介することをテーマとして、公演鑑賞に加えて、演者とナビゲーターとの対談、演者と観客の質疑応答や観客が芸のさわりを体験するコーナーを設けるなど、楽しく学べて体験できる内容で開催しています。(有料事業 入場料1,500円 全4回予定)



平安後期に京都で誕生した「今様」の公演

(2) 街道シリーズ講演会

「宿場・街道」をテーマとして歴史研究家、専門学芸員、郷土史など各方面の著名な方々による講演会を開催します。(入場無料 全4回予定)

(3) 前座・二つ目 お昼の落語

市民に人気のある交流館の名物企画となっており、前座・二つ目の落語家が出演します。市民が気軽に集い交流できる場として、また、若手の落語家の研鑽する場として開催します。(入場無料 全4回予定)

(4) 講談 de 交流

人気の高い前座・二つ目の講釈師が出演します。

地域住民が気軽に集い交流できる場として、また、若手の講釈師の研鑽の場として開催します。(入場無料 全4回予定)

※「お昼の落語」、「講談 de 交流」の公演は入場希望者が多いため、現在、往復はがきで応募いただき、応募者多数の場合は抽選を行っています。



若手講談師の活動を応援する公演

(5) 東海道かわさき宿寄席～アマチュア名人会～

社会人の落語愛好団体と連携して、アマチュア落語家による寄席を開催します。

(入場無料 全3回予定)

(6) 親子体験講座

親子で楽しみながら川崎の歴史や文化をやさしく学べる「親子体験教室」を開催します。

5 共催・協力事業

地域活動、文化交流の場となるよう「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」や「東海道川崎宿2023」及び「特定非営利法人かわさき歴史ガイド協会」等地域で活動している

文化団体等と共催・協力した事業を実施します。

(1) 酔花忌俳句大会

川崎宿佐藤本陣の末裔である詩人佐藤惣之助の命日の前後に行われる「酔花忌」を、川崎区文化協会、川崎今昔会及び当館の共催事業として実施します。また、文化協会等の市民活動団体が実施するイベントの広報活動等への支援協力を行います。

(2) 川崎歴史講座

川崎の歴史や文化を多角的に学び後世に伝えるための講座や座談会を NPO 法人かわさき市民アカデミーや NPO 法人かわさき歴史ガイド協会などと協力して開催し、市民へ川崎の歴史を学ぶ場を提供します。(回数未定)

6 その他の文化事業

川崎市観光協会や地域事業者等と協力して、川崎宿の魅力を発信する事業に積極的に取り組みます。

(1) 川崎宿起立400年特別企画展

東海道の宿場として川崎宿が定められてから400年となることから、川崎市市民ミュージアムと共催して特別企画展を開催します。

(2) 他施設と連携した文化事業

川崎駅周辺で公益財団法人川崎市文化財団が管理運営するミュージアム川崎シンフォニーホール、ラゾーナ川崎プラザソル、アートガーデンかわさき、川崎浮世絵ギャラリーがあり、それらの施設と連携し、事業を展開することにより、相乗効果を高め集客力を高めます。

7 まち歩き・にぎわいづくり等の事業

川崎区役所や地域事業者・団体が実施するまち歩きや街のにぎわいを促進する事業との連携協力を努めます。

(1) 東海道川崎宿を活かした事業の運営と各種団体との連携

川崎宿起立400年を契機として川崎宿周辺や川崎大師地区の賑わいにつながる事業の推進組織として設立された「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」のメンバーとして積極的に活動します。また、東海道川崎宿を活用した街づくりを進めている地域団体である「東海道川崎宿2023」とも連携した取り組みを行います。

特に、「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」がキックオフイベントとして開催する「東海道川崎宿起立400年祭り」や今年度から当館が事務局となって開催する「東海道川崎宿スタンプラリー」の事業運営にあたっては、川崎区役所等の関連機関・団体と連携して実施します。

(2) 駅からハイキングとの連携

JR東日本「駅たびコンシェルジュ」が主催する「駅からハイキング」(川崎駅～当館～川崎大師～浮世絵ギャラリー等々)へ協力して、川崎駅周辺から川崎大師等の観光資源を活用した街歩きや街のにぎわいづくりに貢献します。

8 地域・学校等との連携

地域に親しまれる施設を目指して、地域団体と連携協力して地域のまつりやイベント等に積極的に参加するとともに、小学校・中学校の児童生徒への歴史学習支援等を協働して実施します。



地元小学校児童の歴史学習

(1) 東海道かわさき宿交流館運営委員会の開催

地域住民や関係機関等からの意見要望を、交流館の運営に取り入れるために、地域住民や関係機関等を構成員とした「東海道かわさき宿交流館運営委員会」を開催します。また、提案された意見要望については、できる限り交流館の企画運営に反映するよう努めます。

(2) 学校等との連携

交流館を校外学習の場として活用していただけるよう、近隣の学校等と連携して、次のとおり学習支援事業を実施します。

- ・市内の小学校の社会科見学授業の一環として、当館を利用していただけるよう、校長会や社会科教諭会などへ交流館の利用促進活動を行います。また、小学生が利用する際には、川崎の歴史に興味を持てるよう、学校、教育委員会等の協力を得て作成した児童向けの学習ワークシートや案内映像を活用します。
- ・中学生については、川崎の歴史を学ぶ施設として、また、職場体験学習・地域フィールドワークの場としての活用を図ります。
- ・外国人留学生に、当館を利用していただけるよう地元の日本語学校などへ交流館の利用促進活動を行います。

(3) 特定非営利法人かわさき歴史ガイド協会との協力

地域住民が主体的に交流館事業に関わり、交流館を活用した文化振興やその他地域交流につながる活動を通じて、自らのやりがいを見出すとともに、地域の歴史と文化への理解が深まるよう、次の事業を実施します。

- ・かわさき歴史ガイド協会のボランティアガイドが来館者への案内を行います。
- ・かわさき歴史ガイド協会と協働して、川崎宿ガイドツアーを実施します。
- ・東海道川崎宿に関連する市民団体の活動やイベントを支援・応援し、人材の育成とネットワークづくりに努めます。
- ・集会室等の活用が市民の交流を深め、多様な活動が発展するよう、情報発信や連携構築等の支援を行います。

9 情報収集・発信

(1) 歴史文化資料・情報の収集・提供

- ・東海道川崎宿に関連する歴史文化に関する資料・情報等を収集・整理します。
- ・市民等が保有している川崎のまちの変遷を伝える写真や資料・情報等を収集・整理し、来館者のニーズに応える魅力的な企画展示を実現します。

(2) 交流館ホームページ

交流館ホームページを活用し、交流館展示の魅力・特徴の紹介、イベント開催情報等を逐次発信します。タイムリーな情報更新により、サイトを頻繁に閲覧するファンと交流館利用者の拡大を図ります。また、ウェブアクセシビリティの向上を目指して改善していきます。

(3) 外国人来館者（インバウンド）向け対応

英語、中国語、韓国語のパンフレットを川崎駅周辺のホテルへ積極的に配布します。誰もが気軽に入館できるよう、1階入口付近に英語版での施設表示を改善します。また、受付に自動翻訳機等を準備し外国人へ交流館の魅力を伝えます。

(4) その他広報等

次の広報活動を実施し、来館者の増加に努めます。

- ・交流館チラシ、ポスターを作成し、川崎市情報プラザ等を活用して、積極的な広報に努めます。
- ・マスコミや地域のタウン誌等へのタイムリーな情報を提供します。
- ・街道をテーマとする市内外の施設と連携します。（広報資料の相互提供等）
- ・旅行企画会社等が主催する宿場巡りや街歩きのツアー等へ協力します。

10 物販事業

交流館1階のショップコーナーでは、東海道かわさき宿にふさわしいもの、展示・企画展の関連商品や図録、江戸の粋を感じるグッズ及び川崎ならではの商品等を企画販売します。

11 その他サービス

利用者からの要望があるため、サービス向上の一環として、事務所内の複写機を使用して有料でのコピーサービス（自主事業）を行います。

資料編

I	ミュージアム川崎シンフォニーホール事業	
	別紙1	26
III	川崎市アートセンター事業	
	別紙1～4	31
IV	東海道かわさき宿交流館事業	
	別紙1～2	35

令和5年度 ミューザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演

【音楽ホール】

◆良質で魅力ある公演

○MUZAランチタイムコンサート (各回12:10開演)

●サクソフォン四重奏	4月18日(火)	全席指定 500円
●パイプオルガン&ピアノ	5月23日(火)	
●フラメンコギター・デュオ&パーカッション	6月6日(火)	
●東京交響楽団メンバーによるアンサンブル	7月11日(火)	
●チェンバロ&バロック・ダンス	8月23日(水)	
●ジャズ(ピアノ&ドラムス&ベース)	9月13日(水)	
●パイプオルガン&トランペット	10月24日(火)	
●東京交響楽団メンバーによるコントラバスアンサンブル	11月7日(火)	
●バリトン & ピアノ	12月12日(火)	
●パイプオルガン&和太鼓	2024年 1月16日(火)	
●バンドネオン&ピアノ	2024年 2月27日(火)	
●パイプオルガン・デュオ	2024年 3月26日(火)	

○MUZAスペシャル・ナイトコンサート (各回19:00開演)

●スティーヴ・ガッド BHGプロジェクト	10月26日(木)	未定
●ヴァレンタイン・スペシャル	2024年 2月9日(金)	未定

○MUZA MUSIC BAR (各回19:00開演/会場:ホール2階ホワイエ)

●フラメンコギター・デュオ&パーカッション	6月6日(火)	全席自由 3,000円 ペア割 5,000円
●ピアノ&トロンボーン	9月13日(水)	

○オルガン・コンサート

●イヴ・レヒシュタイナー パイプオルガン・リサイタル	9月18日(月・祝) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円
●MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2023	12月23日(土) 14:00開演	未定

◆音楽文化を創造する斬新な企画

○「フェスタサマーミュージックKAWASAKI 2023」

●フェスタサマーミュージックKAWASAKI 2023	7月22日(土)~ 8月11日(金・祝)	
●こどもフェスタ2023夏	8月5日(土)	

◆フランチャイズオーケストラと質の高い協働

○ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 (ホール・東響共催公演) (各回14:00開演)

<p>●第186回 指揮:クシユトフ・ウルバンスキ/ピアノ:ヤン・リシエツキ メンデルスゾーン:劇付随音楽「真夏の夜の夢」序曲 ショパン:ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 op.21 ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」</p>	4月22日(土)	
<p>●第187回 指揮:ジョナサン・ノット リゲティ:ムジカ・リチェルカータ 第2番(ピアノソロ:小笠寺美樹) マーラー:交響曲 第6番 イ短調「悲劇的」</p>	5月21日(日)	
<p>●第188回 指揮:ジョナサン・ブロックスハム/ピアノ:中野翔太 モーツァルト:ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466 ラフマニノフ:交響曲 第2番 ホ短調 op.27</p>	6月17日(土)	
<p>●第189回 指揮:下野竜也/ヴァイオリン:三浦文彰/ピアノ:高木竜馬 ヴォカリーズ:隠岐彩夏 冬木透:交響曲「ウルトラコスモ」 羽田健太郎(テーマモチーフ:宮川泰):交響曲「宇宙戦艦ヤマト」</p>	7月8日(土)	
<p>●第190回 指揮:原田慶太楼/ソプラノ:森麻季/ソプラノ:森谷真理/バリトン:大西宇宙 モーツァルト:「フィガロの結婚」から“手紙の二重唱” ドヴォルザーク:「ルサルカ」から“月に寄せる歌” ジョン・アダムス:「中国のニクソン」から“私は毛沢東の妻” コルンゴルト:「死の都」から“ピエロの歌” ほか</p>	9月2日(土)	1回券 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円
<p>●第191回 指揮:大友直人/チェロ:水野優也 ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 op.104 チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調 op.74「悲愴」</p>	9月16日(土)	第187回・第193回・第194回は、 S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円
<p>●第192回 指揮:沖澤のどか/合唱:NHK東京児童合唱団、二期会合唱団 《オール・ストラヴィンスキー・プログラム》 バレエ音楽「プルチネッタ」組曲、詩篇交響曲、バレエ音楽「ペトルーシュカ」(1947年版)</p>	10月7日(土)	
<p>●第193回 指揮:ジョナサン・ノット/ピアノ:ゲルハルト・オピッツ/チェロ:伊藤文嗣 リゲティ:アパリシオン、ドビュッシー:「3つの夜想曲」から“祭” ブーレーズ:メサジェスキス~独奏チェロと6つのチェロのための~ アマン:グラツト、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」</p>	11月18日(土)	
<p>●第194回 指揮:秋山和慶/ソプラノ:三宅理恵/メゾソプラノ:小泉詠子/テノール:福井敬 バス:妻屋秀和/合唱:東響コーラス ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲 ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付き」</p>	12月9日(土)	
<p>●第195回 指揮:ピエール・ブリュース/ヴァイオリン:吉田南/オルガン:大木麻理 ドビュッシー(ビュッセル編曲):小組曲 サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲 第3番 ロ短調 op.61 サン＝サーンス:交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガン付き」</p>	2024年 3月2日(土)	

○モーツァルト・マチネ(全4回) (各回11:00開演)

<p>●第53回 指揮:梅田俊明/フルート:高木綾子/管弦楽:東京交響楽団 《オール・モーツァルト・プログラム》 セレナーデ 第6番 二長調 K.239「セレナータ・ノットウルナ」、 フルート協奏曲 第2番 二長調 K.314(285a)、交響曲 第40番 短調 K.550</p>	5月27日(土)	
<p>●第54回 指揮:ユベール・スターン/管弦楽:東京交響楽団 《オール・モーツァルト・プログラム》 ディヴェルティメント 二長調 K.136(125a)、交響曲 第31番 二長調 K.297(300a)「パリ」 交響曲 第35番 二長調 K.385「ハフナー」</p>	10月1日(日)	
<p>●第55回 指揮:クラリネット:ポール・メイエ/管弦楽:東京交響楽団 《オール・モーツァルト・プログラム》 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」K.588序曲 クラリネット協奏曲 イ長調 K.622、交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」</p>	12月2日(土)	全席指定 4,000円 U25 1,500円
<p>●第56回 指揮:鈴木秀美/ヴァイオリン:グレブ・ニキティン/管弦楽:東京交響楽団 《オール・モーツァルト・プログラム》 交響曲 第34番 ハ長調 K.338 ヴァイオリンとオーケストラのためのアダージョ ホ長調 K.261 交響曲 第29番 イ長調 K.201(186a)</p>	2024年 3月20日(水・祝)	

○特別公演 (フランチャイズオーケストラ・プロジェクト)

<p>●R.シュトラウス「エレクトラ」 (演奏会形式/全1幕/ドイツ語上演/日本語字幕付き) 指揮:ジョナサン・ノット/管弦楽:東京交響楽団 演出監修:サー・トーマス・アレン/エレクトラ:クリスティーン・ガーキー クリソテミス:シネイド・キャンベル=ウォレス クリテムネストラ:ハンナ・ジュヴァルツ/オレスト:ジェームス・アトキンソン ほか</p>	5月12日(金) 19:00開演	S:15,000円 A:12,000円 B:9,000円 C:6,000円 U25 全席種半額
--	---------------------	---

◆市民の誇りとなる公演

○海外オーケストラ公演

<p>●内田光子&マーラー・チェンバー・オーケストラ(MCO) モーツァルト:ピアノ協奏曲 第17番、ピアノ協奏曲 第22番 ほか</p>	10月31日(火) 19:00開演	S:22,000円 A:18,000円 B:14,000円 C:10,000円
<p>●ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 指揮:ファビオ・ルイーダ ビゼー:交響曲 第1番、ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界より」</p>	11月3日(金・祝) 17:00開演	S:34,000円 A:28,000円 B:22,000円 C:16,000円 D:13,000円
<p>●ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 指揮:キリル・ペトレンコ モーツァルト:交響曲 第29番、ベルク:オーケストラのための3つの小品 ブラームス:交響曲 第4番</p>	11月21日(火) 19:00開演	S:45,000円 A:40,000円 B:36,000円 C:30,000円 D:25,000円 E:20,000円

○スペシャル・コンサート

①ホールアドバイザー企画公演

<p>●ホールアドバイザー秋山和慶企画 「オーケストラで楽しむ映画音楽XIV」 指揮:秋山和慶/ゲスト・ヴォーカル:福井晶一/ナビゲーター:中井美穂 管弦楽:東京交響楽団 「燃えよドラゴン」「雨に唄えば」「風と共に去りぬ」「ジャズ・シンガー」 宮川泰:組曲「宇宙戦艦ヤマト」、「スター・ウォーズ」「未知との遭遇」、他</p>	4月8日(土) 15:00開演	S:7,000円 A:6,000円 B:5,000円 C:4,000円 U25 各席半額
<p>●ホールアドバイザー松居直美企画 「言葉は音楽、音楽は言葉 Vol.5 J.S.バッハ:音楽の捧げもの」 パイプオルガン:松居直美、マイム:マンガノマシツ ほか</p>	2024年 2月17日(土) 14:00開演	調整中
<p>●ホールアドバイザー小川典子企画</p>	2024年 2月23日(金・祝) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円

②その他の公演

●かわさきジャズ2023	11月19日(日) 開演時間: 調整中	調整中
●MUZAジルベスターコンサート2023	12月31日(日) 15:00開演	S:7,000円 A:6,000円 B:5,000円 C:4,000円 U25 全席種半額
●第10回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	2024年 3月11日(月) 開演時間: 調整中	全席指定 1,000円

◆市民の晴れ舞台としての発表の場

●ミュウザ川崎 市民合唱祭 2023	6月10日(土) 11日(日)	調整中
●ミュウザ川崎 市民交響楽祭 2023	8月27日(日)	調整中
●ミュウザ川崎 市民吹奏楽祭 2023	10月9日(月・祝)	調整中
●交流の響き in かわさき 2023 <共催>	9月17日(日)	全席自由 無料
●ブラチナ音楽祭 2023 <共催>	9月23日(土・祝)	全席自由 無料

◆市内の音楽大学や音楽団体との連携

○音楽大学オーケストラ・フェスティバル (ミュウザ川崎シンフォニーホール/東京芸術劇場共同企画)

●第14回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル (昭和音楽大学、武蔵野音楽大学)	11月26日(日) 15:00開演	各1,000円
●第14回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル (桐朋学園大学、洗足学園音楽大学)	12月3日(日) 15:00開演	
●第13回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ 指揮:シルヴァン・カンブルラン	2024年 3月31日(日) 15:00開演	S:2,000円 A:1,500円

◆市文化施設・企業・商業施設や教育との連携、パラムーブメントの推進

○「ミュウザの日2023」

●ミュウザの日 7月1日はホールの開館記念日、そして川崎市の市制記念日。その2つの記念日をミュウザ川崎シンフォニーホールでは「ミュウザの日」として、フランチャイズ・オーケストラ東京交響楽団のオーケストラ公演を中心に、音楽工房内の各種イベントなど、「音楽のまち・かわさき」らしい楽しい1日をミュウザが演出します。 ・ホール公演(ウェルカムコンサート) ・音楽工房を利用したの無料イベント ・ミュウザビル全館で行う企業や近隣の商業施設等の提供による様々なイベント など	7月1日(土)	ウェルカムコンサート 大人:2,000円 シニア:1,800円 (65歳以上) 子ども:500円 (4歳~中学生) 家族割:2,000円 (大人+子ども or シニア+子ども) ※鑑賞サポートあり
--	---------	--

○「こどもフェスタ 2023春」

●おはなしオルガン	5月5日(金・祝)	事前申込制
●パイプオルガンミニコンサート&照明ショー		事前申込制

○「みんなのオルガン」

●オルガンツアー パイプオルガンのコンサート後、オルガンの説明・紹介と演奏体験	全4回	無料~1回500円(予定)
●わたしもほくもオルガニスト パイプオルガン長期レッスン発表会	5月5日(金・祝)	無料

【音楽ホール以外】

◆音楽工房を活用した事業

●MUZA ミュージック・カレッジ(市民交流室) 午後のひと時、トークを楽しみながら、さまざまな角度で音楽の楽しみ方をご紹介するコンサート。	全3回	未定
●リヒャルト・シュトラウス「エレクトラ」事前講座(市民交流室) 「エレクトラ」公演に先立ち、講師による作品の紹介や公演のポイントなど紹介する講座。	4月24日(月) 13:00開始	全席自由 1,200円

◆文化施設・企業・商業施設や教育との連携

●こどもフェスタ2023春 MUSIC×ENGLISH 音のワークショップ(市民交流室)	5月5日(金・祝)	500円
●ミューザの日(前掲)	7月1日(土)	
●ジュニア・プロデューサー(ミューザの日関連企画)	4月4日(火) ~7月1日(土) 計9回	参加無料 7月1日公演は有料500円
●創発プログラム(吹奏楽クリニック 他)	年4回程度	

◆パラムーブメントの推進

●ポプリ・コンサート (訪問予定校) 川崎市立田島支援学校 桜校、 川崎市立中央支援学校稲田分教室、神奈川県立麻生養護学校	9月~10月	無料
●第19回 ジェイミーのコンサート(市民交流室) ホールアドバイザー小川典子氏による自閉症児・障がい児の家族を応援するコンサート	4月6日(木) 11:00開演	全席自由 3,500円

◆人材育成事業

●若手音楽家育成事業	7月	
●インターンシップ事業(大学等との連携・インターン等)	随時	
●音楽大学オーケストラ・フェスティバル(前掲)	11-12月、3月	
●教育機関との連携事業(教職員育成事業 等)	調整中	
●わたしもほくもオルガニスト ・長期レッスン:前年度より継続事業 ・短期レッスン	長期レッスン 今年度:6回 短期レッスン 調整中	
●創発プログラム(前掲)	年4回程度	

◆アウトリーチ事業

●東京交響楽団 ~爽やかグリーンコンサート~ 指揮:小林研一郎/ピアノ:黒木雪音/管弦楽:東京交響楽団 会場:テアトロ・ジューリオ・シウワ ベートーヴェン:エグモント序曲 リスト:ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 ドヴォルザーク:交響曲第8番 卜長調	5月7日(日) 15:00開演	S:5,500円 A:4,500円 B:3,500円 U25:2,000円
●フェスタサマーミューザKAWASAKI 2023 出張サマーミューザ@しんゆり(前掲)	前掲 7月29日(土) 8月5日(土)	
●ポプリ・コンサート(前掲)	会場調整中	無料
●東響ミニコンサート in MUZA ミューザビル内において、オフィス棟に勤める人や店舗利用者に向けて、 ホールとフランチャイズオーケストラをPRする機会として、 東響メンバーによるミニコンサートを歓喜の広場にて開催。	全6回 調整中	無料

令和5年度川崎市アートセンター事業計画（アルテリオ小劇場）

年月	事業分類	分野	アーティスト	公演名	概要
5年4月	鑑賞事業	演劇	指導：故桐竹智恵子、桐竹勲十郎 出演：ひとみ座乙女文楽	(公財)現代人形劇センター「乙女文楽」	川崎・しんゆり芸術祭2023のラインナップとして上演。川崎市地域文化財である「乙女文楽」が川崎市アートセンターに初登場。川崎市北部で初めて生演奏の義太夫を交え、本格的な古典演目を上演。人形解説などを盛り込み、初めての観客にも親しんでいただく内容を予定しています。
5年5月	鑑賞事業	演劇	演出：アリツィア・ルプザック 美術：バーバラ・マレッカ 音楽：かとうなおこ 照明：富山小枝	日本児童・青少年演劇劇団協同組合/ベイビーシアタープロジェクト「KUUKU」	川崎・しんゆり芸術祭2023のラインナップとして上演。海外でも注目を集めるベイビーシアターは赤ちゃんが主役であり、観客でもある舞台です。また、リラックス公演として障がいのある子ども、配慮が必要な子どもと保護者を対象とした公演を予定しています。
5年5月	鑑賞事業	演劇	作：くるみざわしん 演出：高橋正徳	劇団コーロ「眠っているウサギ」	川崎・しんゆり芸術祭2023のラインナップとして上演。高校生によるホームレス殺人事件を題材にした作品。「はみ出したらダメ」「お金がすべて」—そんな社会に生まれた子がホームレスを襲ったら、誰の責任なのか。競争・貧困など子どもたちに関わる問題を盛り込んだ中高生向きの作品です。
5年6月～6年3月	鑑賞事業 連携事業	演芸	初音家左橋 桂米多朗 毎月ゲストあり	「しんゆり寄席」 年5回	川崎南部・プラザソルの「ラゾーナ寄席」、北部の「しんゆり寄席」と南北同時に平成24年度にスタートした年5回の定番企画。毎回、世話人2名を含め真打3名が出演。抽選会も開催します。
5年6月～6年3月	鑑賞事業 連携事業	コンサート	田辺充邦 (G)、佐瀬正 (B)、 右近茂 (T-SAX) などを中心に プログラム	「しんゆりジャズスクエア」 年5回	平成24年度よりスタートした年5回のジャズコンサート。地元・昭和音楽大学とのコラボレーション企画なども取り入れています。プログラムの幅を広げています。11月公演はかわさきジャズの連携企画とします。地元タウン誌を発行するエリアインと音楽制作会社ブレルーティオと共に実施。
5年7-8月	鑑賞事業	演劇		親子で楽しむ夏時間2023 「パレイドリア」(チリ・スペイン) 「カラフルパズル」(リトアニア)	夏休みの時期に親子で楽しめる質の高い児童・青少年演劇の鑑賞機会を提供。2作品ともノンバーバル(セリフに頼らな表現)にすることで国境も超えて楽しめます。いずれも対象年齢が異なることで幅広い子どもたちの鑑賞機会を提供します。
5年7-8月	創造発信交流事業	ワークショップ	講師：ふじたあさや、河田園子ほか	夏休みワークショップフェスティバル2023	劇場空間を使い、幅広い年齢層が参加できるワークショップを開催。ミュージカルWSとことばWSを開催予定。演劇体験だけではなく、演劇をツールとして活用し、相互理解や助け合いの心を育む時間を提供します。
5年10月	鑑賞事業	演劇	作：モリエール 演出：五戸真理枝 出演：大原康裕(文学座)、中地美佐子、齋藤尊史(ともに民藝)ほか	しんゆりシアター「女学者」	ミュージカルとストレートプレイを交互上演するしんゆりシアターの企画。フランスの国民的作家モリエールによる本作は、1672年に初演、「最も美しい戯曲」とされています。新国立劇場等でも活躍する五戸氏(文学座)を演出に迎え、実力俳優を配し、楽しい舞台鑑賞機会を提供します。
5年12月ほか	創造発信交流事業	演劇	作：萩坂心一(劇団わが町) 潤色・演出：ふじたあさや	しんゆりシアター劇団わが町「あしものいすみ～登戸研究所物語」(仮題)	市民劇団・劇団わが町公演。川崎市制99・100年と2年に亘り「わが町川崎を知る」をテーマに活動。令和5年は30余年前の法政二高の高校生らによる「登戸研究所掘り起こし運動」に着想を得てオリジナル作品を上演します。劇団員の出演やスタッフワークまで及び活動は舞台芸術へのより深い理解となります。
5年度(時期未定)	鑑賞事業 創造発信交流事業	鑑賞+WS	現在調整中	小劇場×映像館コラボレーション企画 vol.6	劇場空間を活用し短編映画上演、幻燈などの鑑賞、体験により、より立体的に理解を深める機会を提供します。令和5年度も劇場ならではの「生の舞台芸術と映像」の結びつきにフォーカスを当てた企画を検討中。
通年	創造発信交流事業	アウトリーチ	講師：原田亮、河田園子ほか サポート：劇団わが町	しんゆりアウトリーチ	劇場に足を運ばない方々のもとに、文化芸術を届けるべく、体験型アウトリーチ等を開催。ワークショップで国内外での実績のある講師陣と劇団わが町のメンバーが出かけていきます。
6年3月	創造発信交流事業 連携事業	演劇	川崎市高等学校演劇研究会との共催	高校演劇フェスティバル	麻生区のみならず、川崎市内の舞台芸術の発表の場として日頃の成果を地域の方々に披露、芸術のまちづくりに寄与したいと考えます。
5年11月	特定事業	映画	KAWASAKI アーツとの共催	KAWASAKI しんゆり映画祭	令和5年度29回目を迎えるKAWASAKI しんゆり映画祭は、市民ボランティアによって運営。アートセンターをメイン会場として使用。特定事業として運営協力を行います。
通年	地域の劇団、カンパニー、大学・高校の演劇部などと連携し、「しんゆり・芸術のまち」の拠点として相應しい事業を進めます。アルテリオ小劇場の広報宣伝活動に努め、貸館利用の促進を図ります。				

令和5年度 川崎市アートセンター事業計画（アルテリオ映像館）

事業名	実施時期	企画名	概要
映画上映事業（コミュニティシネマ）	①新作上映	通年	ロードショー公開や新作・秀作上映（月10～12本程度）
	②名画上映	通年	国内外の優れた旧作映画の上映
	③副音声ガイド付き上映	通年	バリアフリーシアター 目の不自由な方のための副音声ガイド付き上映、年5～6作品
	④保育付き上映	通年	バリアフリーシアター 映画鑑賞中に、2～5歳の幼児をお預かりする。年10作品
	⑤フレンドリー上映	不定期	バリアフリーシアター 障がいを持つ方や小さいお子様連れの方にも気兼ねなく映画をご覧いただくために、通常より明るめの照明で出入りしやすい環境で上映する。
	⑥映画タイムマシン	夏休み	日本映画の鑑賞とワークショップ 鑑賞する機会の少ない日本映画を35mmフィルムで上映する。開催中は内容に合わせたワークショップを行い、映像文化に触れる機会を提供する。
	⑦放課後シアター	通年	中学・高校生を対象とした、トークやワークショップ付き上映
	⑧企画・特集上映	通年	映画ファン向け特集上映 上映機会の少ない監督や国・地域の作品の特集上映
	⑨上映支援・コミュニティ上映	通年	地域や団体・個人が企画制作した優れた作品の上映支援 地域や団体からの提案に基づく上映及び団体鑑賞、上映会のサポート
	⑩団体鑑賞	通年	各種団体による鑑賞 学校、PTAや子ども会、老人施設ほか地域の団体や近隣大学などによびかけ、鑑賞を推進
	⑪コミュニティシネマセンターとの協働	不定期	Fシネマ・プロジェクトや特集上映・巡回企画への参加 フィルムでの上映環境を保持するためのFシネマ・プロジェクト、および各種作品の特集上映・巡回企画に参加
文化創造事業	①ゲストトーク・講座・イベント	通年	映画のスタッフ・キャストや評論家による舞台挨拶などのトーク、講座、イベント 上映作品やその背景に関連した監督・俳優・評論家等による作品解説、イベントや舞台挨拶等の開催
	②こども向けワークショップ	夏休み 春休み	アニメーション、ピンホールカメラ、映画制作、映画音楽制作、無声映画活弁 制作者などの第一人者を講師に迎えたワークショップ
	③映画・映像制作	秋～冬（10回程度）	3分間ビデオ制作入門講座 ドキュメンタリー制作者を講師に、撮影・編集の基本的な技術を身につけるワークショップ
	④副音声ガイド制作	年5～6作品	映画の副音声ガイド制作 目の不自由な方のための副音声ガイドを年5～6作品制作
共催・連携事業	①KAWASAKIしんゆり映画祭	秋	第29回KAWASAKIしんゆり映画祭開催 NPO法人KAWASAKIアーツによる、KAWASAKIしんゆり映画祭を共催
	②川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）	4月末～5月初旬	川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2023 川崎・しんゆり芸術祭公演の賛助企画を中心とした企画上映を日本映画大学と協働して開催 →「上映企画者養成講座による企画上映」をおこなう
	③日本映画大学	4月末～5月初旬	上映企画者養成講座で選ばれた優秀企画の実施・運営（共催） →川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2023にて開催
	④映像のまち・かわさき	通年	映像のまちかわさき推進フォーラムと連携した映像文化の発信
鑑賞事業	映画に関する企画展示		ロビーやコラボレーションスペースを活用し、映画史や上映作品に連動した企画展示を行う。
制作支援事業	撮影・制作支援	通年	撮影・制作支援 ロケ地としての活用を支援 映像編集室・録音室の利用促進、制作支援
シネマ会員事業	会員の拡大	通年	会員システムの告知とサービスの充実により会員を拡大
広報・宣伝事業	シネマ・ニュースの発行、パブリシティ展開、ウェブの活用	通年	アルテリオ・シネマニュース（月刊）の発行 新聞・地域メディア・専門誌などでの情報発信 ホームページやウェブ、ツイッターでの情報発信 イオンシネマ新百合ヶ丘や神奈川県のミニシアターとの協力による広報活動 アルテリオ・シネマニュース：上映作品紹介、イベント情報などを掲載し、毎月制作発行 地域情報誌や専門誌などへの広報の充実 ホームページやメールマガジンの充実、ツイッターの活用 イオンシネマ新百合ヶ丘とアートセンター、それぞれの毎月の主要ラインナップを掲載したB1サイズのパスターを相互に掲示する 横浜市をはじめとした県内のミニシアターと、定期的に会議を行い、広報やイベントの協力をはかる
周年事業	15周年記念事業	通年	フランス映画『どん底 4Kレストア版』（1936年/ジャン・ルノワール監督）の上映 令和4年度の15周年記念事業として、上映権を購入し、館内で上映したフランス映画『どん底 4Kレストア版』を、広く全国のミニシアターで上映してもらうよう働きかける

令和5年度 川崎市アートセンター 特定事業等

年 月	分野	アーティスト等	公 演 名	概 要
令和5年10月 ～11月	映画	NPO 法人KAWASAKI ARTSとの共催	KAWASAKI しんゆり 映画祭	29回目を迎えるしんゆり映画祭は市民ボランティアによる運営。川崎市アートセンターをメイン会場として使用。また、職員によるボランティア研修、当日の技術協力も行っています。
令和5年4月～ 5月	総合芸術	芸術の各分野で活躍する アーティスト・著名人	川崎・しんゆり芸術祭 2023	今回で15回目の開催となり、川崎北部の芸術祭として毎年2万人を超える方に来場いただいています。新百合ヶ丘駅周辺の施設を中心に多摩区などでも開催し、今年度はアウトリーチ公演も初めて実施します。川崎市アートセンターは、実行委員会の庶務・調整機能を担当しています。
令和5年10月 ～令和6年3 月	講義	講師：舞台芸術の幅広い ジャンルの著名人	アートボランティア育成事業「アート講座」 しんゆり「知ること、学ぶこと」	アートマネジメントに必要なノウハウを習得することで、芸術のまちを支える地域ボランティアの発掘・育成を目指す取組です。講師には、文化芸術分野の著名人を迎え、幅広い年代が日常的に文化芸術に親しむ機会と、新しい価値観との出会いの場を提供します。

川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカ・しんゆり）2023 公演一覧

演目数	公演数	日程	開場	開演	公演名	会場名	ジャンル
1	1	4月8日(土)	13:30	14:00	<プレ公演> 2023 若きアーティストたちの響演 ～昭和音楽大学同侪会とともに～	昭和音楽大学 ユリホール	音楽 クラシック
2	2	4月9日(日)	12:30	13:00	<プレ公演> 2023 若きアーティストたちの響演 ミュージカル・スプリング・ライブ ～昭和音楽大学同侪会とともに～	昭和音楽大学 スタジオ・リリエ	ミュージカル
	3		16:30	17:00			
3	4	4月15日(土)	13:30	14:00	アルテリッカしんゆり「グリーン・プロジェクト」I 「黒川稽古場村」合同公演	昭和音楽大学 ユリホール	オペラ 演劇 音楽/クラシック
4	5	4月16日(日)	13:30	14:00	未来づくりコンサートVol.5 ～トルヴェール・クワルテットとともに～	昭和音楽大学 ユリホール	音楽 クラシック
5	6	4月16日(日)	13:30	14:00	<プレ公演> 2023 若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポピュラーライブ ～昭和音楽大学同侪会とともに～	新百合21ホール 多目的ホール	音楽 ジャズ ポップス
	7						
7	9	4月23日(日)	14:15	15:00	The Three ～国府弘子(ジャズピアノ)×藤原道山(尺八)×SINSKE(マリンバ)～	川崎市麻生市民館 大ホール	音楽 ジャズ
8	10	4月29日(土・祝)	12:15	13:00	劇団民藝公演「ある八重子物語」	川崎市麻生市民館 大ホール	演劇 大人向け
9	11	4月29日(土・祝)	13:30	14:00	乙女文楽公演	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	伝統芸能
10	12	4月29日(土・祝)	15:30	16:00	昭和音楽大学音楽芸術運営学科 アートマネジメントコース企画制作演習企画公演Vol.1 TROMBONE FOR TWO ～J&K トリビュート～	昭和音楽大学 ユリホール	音楽 ジャズ ポップス
11	13	4月29日(土・祝)	12:30	13:00	アルテリッカ演芸座 柳家三三 初音家左橋 二人会	新百合21ホール 多目的ホール	演芸 寄席
12	14	4月30日(日)	12:30	13:00	アルテリッカ演芸座 異芸競演 お好み寄席	新百合21ホール 多目的ホール	演芸 寄席
13	15	4月30日(日)	13:30	14:00	こんにゃく座 オペラ『森は生きている』	多摩市民館	ミュージカル
14	16	5月3日(水・祝)	13:30	14:00	優雅な弦の響き・ハープ&弦楽四重奏の世界	昭和音楽大学 ユリホール	音楽 クラシック
15	17	5月3日(水・祝)	13:15	14:00	人間国宝の競演～友枝昭世と山本東次郎の至芸～	川崎市麻生市民館 大ホール	伝統芸能 能・狂言
16	18	5月3日(水・祝)	11:00	11:00	ハイビシーアター KUUKI(一般)	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	演劇/音楽 子ども向け
	19	5月4日(木・祝)	11:00	11:00			
	20	5月3日(水・祝)	14:00	14:00			
17	21	5月4日(木・祝)	10:15	11:00	子供のための音楽ショータイム ～はじめてのわくわく！ カラフルおながくランド～	新百合21ホール 多目的ホール	子ども向け 音楽
18	22	5月4日(木・祝)	13:00	14:00	奄美の黒うさぎコンサートVol.2 ～祝・奄美群島日本復帰70周年～	多摩市民館 大ホール	音楽/ワールド・ ミュージック
19	23	5月5日(金・祝)	13:30	14:00	Quattro Aria スプリングコンサート2023	昭和音楽大学 ユリホール	音楽 クラシック
20	24	5月5日(金・祝)	13:30	14:00	和太鼓 梵天「古事記」～岩戸伝説～	川崎市麻生市民館 大ホール	伝統芸能 和楽器
21	25	5月6日(土)	13:15	14:00	トリオ・リベルタ コンサート 石田泰尚(ヴァイオリン)、中岡太志(ピアノ)、松原孝政(サクソフォン)	昭和音楽大学テアト ロ・ジューリオ・ジョウ ワ	音楽 クラシック
22	26	5月6日(土)	17:15	18:00	Standars on Jazz ～秋田慎治と仲間たち～	新百合21ホール 多目的ホール	音楽 ジャズ
23	27	5月7日(日)	14:30	15:00	東京交響楽団 ～爽やかグリーンコンサート～	昭和音楽大学テアト ロ・ジューリオ・ジョウ ワ	音楽 クラシック
24	28	5月7日(日)	17:15	18:00	中崎英也ヒット作品の世界 ～日本のポップスから演歌まで～	新百合21ホール 多目的ホール	音楽 ポップス
25	29	5月13日(土)	13:30	14:00	劇団コーロ公演「眠っているウサギ」	川崎市アートセンター アルテリオ小劇場	演劇 児童・青少年
26	30	5月13日(土)	13:15	14:00	ーアルテリッカしんゆり2023 フィナーレ公演ー スターダンサーズ・バレエ団公演「The Concert」	昭和音楽大学テアト ロ・ジューリオ・ジョウ ワ	バレエ
	31	5月14日(日)	13:15	14:00			
27	32	開催期間内での実施			日本映画大学 学生企画上映会	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	映画
		3月6日(月) ～3月12日	10:00～18:00 最終日のみ16:00まで		<プレイベント> アルテリッカ新ゆり美術展	新百合21ホール 多目的ホール	美術
		4月15日(土) 4月29日(土・祝)			アウトリーチ 「緑と水のコンサート」	早野 稲田多摩川 王禅寺地区 予定	

令和5年度〔2023年度〕 主催イベント

江戸時代の粋に遊ぶ				
第55回	4月15日(土)	「春の浪曲」	出演者：玉川奈々福、広沢美舟、玉川奈みほ	料金：1,500円
第56回	8月19日(土)	「(内容未定)」	出演者：未定	料金：1,500円
第57回	11月18日(土)	「(内容未定)」	出演者：未定	料金：1,500円
第58回	2024年 1月13日(土)	「(内容未定)」	出演者：未定	料金：1,500円
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

街道シリーズ講演会				
第35回	5月20日(土)	「香川歩き お遍路(仮題)」	講師：佐竹信一	料金：無料
第36回	7月22日(土)	「琉球王国の巡礼路)」	講師：上里隆史	料金：無料
第37回	12月16日(土)	「(内容未定)」	講師：未定	料金：無料
第38回	2024年 3月16日(土)	「(内容未定)」	講師：未定	料金：無料
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

前座・二つ目 お昼の落語				
第27回	5月10日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	料金：無料 ※往復はがき
第28回	9月20日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	
第29回	12月20日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	
第30回	2024年 3月6日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

講談de交流				
第22回	4月19日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	料金：無料 ※往復はがき
第23回	7月12日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	
第24回	11月15日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	
第25回	2024年 2月7日(水)	「(内容未定)」	出演者：未定	
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

東海道かわさき宿寄席～アマチュア名人会～				
第10回	6月18日(日)	「(内容未定)」	出演者：アマチュア落語会「さいわい寄席」「むさしいつかは名人会」「かながわ楽笑会」等の関係者	料金：無料 ※先着順
第11回	10月15日(日)	「(内容未定)」		
第12回	2024年 2月18日(日)	「(内容未定)」		
※ 開催日は予定であり、諸事情により変更する場合があります。				

令和5年度〔2023年度〕 3階 企画展

期間		展示名
1	3月5日(日)～4月23日(日)	「かわさきミニガイドパネル展」
2	5月2日(火)～6月25日(日)	「佐藤惣之助展 (タイトル未定)」
3	7月～8月	「川崎市観光写真コンクール入賞作品展」
4	8月～9月	「かわさきミニガイドパネル展」
5	10月1日～11月26日	「川崎宿場展」～東海道川崎宿起立400年記念～
6	12月	川崎地名研究所のあゆみ～設立40周年記念～
7	1月～2月	「かわさきミニガイドパネル展」